



第2回現役世代のがん対策推進検討会

見えてきた兵庫のがん対策の課題

～第1回現役世代のがん対策推進検討会での意見から～

現役世代のがん対策推進検討会の方向性

第1回

(1)現状の把握、課題の共有

- 兵庫県のがん対策の現状・課題について広く共有
- 国の動向や、有識者からの意見などを共有

(2)意見交換

- がん対策の取組みについて、現場目線での現状・課題の共有
- 各団体等への質疑など

第2回

課題対応策の検討

- 第1回検討会で出た現状課題を踏まえた対応策の協議
- 公民連携を含む新たな取組みの検討
- 意見交換

第3回

検討結果のとりまとめ

- 現状・課題のとりまとめ
- 既存事業のブラッシュアップ
- 公民連携を含む新規施策の検討

検討後

令和9年度施策立案

第1回現役世代のがん対策推進検討会 主な発言内容

がん検診について

- ✓ 企業もどのメニューをいつ受けたらよいかなど悩んでいるところが多いと感じる。
企業の理解があれば社員への呼びかけも進むので、うまく情報を発信できる仕組みを考えてほしい。
- ✓ 5がんの健診をまとめて受診できる仕組みづくりが必要と考える。また、全住民の受診状況の把握に向け、企業と連携して検討する必要がある。周知については、自治体のHPに情報を掲載しているだけでは不十分と感じる。
- ✓ 中小企業によっては、法定の健診等への対応で精一杯で、がん検診まで取り組むのは容易ではない。
一方、働き方等社会の変化とともに意識も改善してきたため、がん検診も継続的な企業への啓発・周知は重要。

両立支援について

- ✓ 検診を受けない理由の中には、がんと診断されると仕事を辞めないといけないという思い込みがまだあるのではないかと。
企業が、治療と就業は両立できるということをアピールしていくことが大切。
- ✓ 特に中小企業の場合、キーマンが休んでしまうと影響が大きく、代替職員の確保も難しいのが現状。
フレキシブルな働き方など両立を頑張っている従業員に対するサポートがあればよいのでは。

相談支援について

- ✓ がん相談支援センターの相談窓口は、使いにくく、周知も十分でないと感じる。一方で、多岐にわたる相談への病院側のマンパワーも十分でない状況もあり、利用しやすさとの両面でどう対策を講じるか重要。
- ✓ 県で養成しているピア・サポーターについても、活用に向けたスキルアップや病院の受入体制整備が大切。

アピアランスケアについて

- ✓ アピアランスサポート事業の現状について、所得制限の影響から働き盛りの現役世代より高齢者への支援になっているのが現状である。また、補助要件は医療用ウィッグに限られているが、医療用でなくても様々な価格帯のものもある。
- ✓ 助成するということだけではなく、髪の毛がぬけたときの対応のなど現状をよく知ってもらうことが大切である。
- ✓ アピアランスケアの助成のあり方は、予算の兼ね合いがあるが、助成状況も踏まえた上で、例えば、助成額を下げて、所得制限をなくすようなことも考えられるのではないかと。

第2回がん対策推進検討会での主な検討事項

1. がん・がん検診の正しい知識の啓発について

- ・ がん検診受診率
- ・ がん治療等正しい知識やがん検診の普及啓発

2. 就労や社会参画について

- ・ 企業のがん治療やがん検診の理解促進
- ・ 中小企業等への支援制度の在り方

3. 相談支援体制の強化について

- ・ 相談支援センターの周知不足、マンパワー不足
- ・ 相談内容の多様化、複雑化
- ・ ピア・サポーターの活用体制整備

4. アピアランスケアの在り方について

- ・ 所得制限
- ・ 助成対象の制限(医療用ウィッグ限定)
- ・ 事業の持続可能な財源の確保